

目 次

I	文学部	1
1.	専門教育科目の履修	3
2.	1年間に履修登録できる単位数の上限	6
3.	所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の認定	6
4.	成績優秀者の履修登録単位数の上限緩和	7
5.	3年以上4年未満での早期卒業	7
6.	学期末試験と成績	7
7.	学外での学修に係る単位の認定	8
8.	学科分属・コース選択	8
9.	6年一貫教育プログラム	9
10.	大学院授業科目の先行履修	9
11.	編入学生のために	10
12.	文学部プロジェクト科目の案内	10
13.	文学部で取れる資格	12
14.	履修モデル	14
15.	文学部専門科目一覧（令和4年度以降入学者用）	38
16.	文学部専門教育科目時間割（令和4年度以降入学者）	57
17.	文学部専門科目一覧（令和3年度以前入学者用）	67
18.	文学部専門教育科目時間割（令和3年度以前入学者）	91
II	理学部	101
1.	専門教育科目等の履修	103
2.	1年間に履修登録できる単位数の上限	104
3.	3年以上4年未満での早期卒業	104
4.	学期末試験と成績	105
5.	学外での学修に係る単位の認定	105
6.	6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム	105
7.	先行履修教育プログラム	106
8.	学科関係専門教育科目・履修モデル等の案内	108
8. 1	数物科学科	108
	数学コース	112
	物理学コース	115
	数物連携コース	122
8. 2	化学生物環境学科	127
	化学コース（令和2（2020）年度以降入学者用）	133
	生物科学コース	150

環境科学コース	170
9. 編入学生のために	177
10. 理学部専門教育科目一覧	178
11. 理学部専門科目授業時間割表	191
12. 理学部専門科目 積極開放科目	197
III 生活環境学部	199
1. 専門教育科目以外の履修について	201
2. 専門教育科目の履修	202
3. 1年間に履修登録できる単位数の上限	207
4. 所定の単位を優れた成績で修得した者の履修登録単位数の上限緩和	208
5. 3年以上4年未満での早期卒業	208
6. 学期末試験と成績	208
7. 学外での学修に係る単位の認定	209
8. 6年一貫教育プログラム	209
9. 博士前期課程授業科目の先行履修制度	210
10. 学科・コース関係専門教育科目履修モデル等の案内	211
11. 編入学生のために	225
12. 生活環境学部で取れる資格	225
13. 生活環境学部専門教育科目一覧	228
14. 生活環境学部専門教育科目時間割表	260
15. 令和7年度生活環境学部専門教育科目 積極開放科目	269
IV 工学部	271
1. 専門教育科目以外の履修について	273
2. 専門教育科目の履修	273
3. 1年間に履修登録できる単位数の上限	275
4. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の履修登録単位数の上限緩和	275
5. 3年以上4年未満での早期卒業	276
6. 学期末試験と成績	276
7. 学外での学修に係る単位の認定	276
8. 専門教育科目履修モデル等の案内	277
9. 編入学生のために	279
10. 工学部で取れる資格	279
11. 工学部専門教育科目一覧	280
12. 工学部専門教育科目時間割表	284
13. 工学部専門教育科目 積極開放科目	288

IV 工学部

学部の目的

本学部は、産業界の多様な分野において課題の本質の理解や探究心をもたせるために、STEAM教育に基づく知識に加えて、幅広い教養や工学の基礎知識に立脚する応用力とコミュニケーション能力を強化し、発見や創造に立ち向かう主体性を身に付けた人材を育成することを目的とする。

学科の目的

工学科は、工学の専門知識や技術に加えて、人間と社会、自然と科学に関する幅広い教養を身に付け、それらから工学的視点に立って社会にイノベーションを起こす力を身に付けた工学系女性人材を育成することを目的とする。

大学在学中の授業の履修方法、卒業に必要な単位数等は、原則として、入学年度の『CAMPUS LIFE』に掲載されている学則及び工学部規程が、卒業するまで適用されます。紛失しないよう大切に保管してください。

科目の履修は、入学年次の工学部規程と本冊子『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』、大学のWebページから見る事ができる『開講科目概要』及び『シラバス』を熟読し、各学期の始めに行われるガイダンスをふまえて、履修計画を立ててください。

また不明な点は、必ず教務担当の教員または学務課工学部係に確認してください。

1. 専門教育科目以外の履修について

基礎科目群（外国語科目・保健体育科目・情報処理科目）、教養科目群、単位互換制度による科目、キャリアプラン科目群、資格関連科目群の履修方法は『全学教育ガイド』に解説していますので、そちらを参照してください。

【放送大学教育協力型単位互換科目】

これは放送大学の授業科目を本学の教育課程の中で開講するもので、受講料を支払うことなく、4学部的全学生が受講することができます。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれません。なお、この科目の受講者を対象に、様々なアンケート調査が行われますので、ご協力ください。詳細は、『全学教育ガイド』の「V 単位互換制度 1 放送大学教育協力型単位互換科目について」を参照してください。

【奈良県大学連合における単位互換について】

平成20年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の7大学（帝塚山大学・天理大学・奈良大学・奈良教育大学・奈良県立大学・奈良県立医科大学・奈良学園大学）の指定された科目を履修できるようになりました。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれます。なお、この制度は2年次生以上を対象とするので、令和7年度入学生は、令和8年度から利用できます。詳細については、『全学教育ガイド』の「V 単位互換制度 2 奈良県大学連合における単位互換について」を参照してください。

2. 専門教育科目の履修

工学部の専門教育科目は、基幹科目群（基幹必修科目・基幹発展科目）・専門科目群（専門基礎科目・専門応用科目）に区分されています。卒業要件単位の詳細は次のページのとおりです。必修区分の詳細は後述の「工学部専門教育科目一覧」に記載していますので、こちらも参照のうえ、履修計画を立ててください。

なお、編入学生は、編入された学年の入学年次のカリキュラムが適用されます。履修登録の際に十分注意してください。

授 業 科 目			必要 単位数	備考	
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	詳細な履修方法については『全学教育ガイド』を参照	
		保健体育科目	2		
		情報処理科目			
		計 【注1】	12		
	教養科目群	18			
教養教育科目総計			30		
専門教育科目	基幹科目群	基幹必修科目	29	3科目から、 2科目4単位以上 必修	
		基幹発展科目	13		
		計	42		
	専門科目群	専門基礎科目	コンセプチュアルデザイン演習 (PBL)		4
			ユーザー指向開発演習 (PBL)		
			社会改善起業演習 (PBL)		
			プレゼミナール		
		専門応用科目	卒業研究		9
	計 【注2】				38
	専門教育科目総計				80
卒業に必要な残りの単位数			14	【注3】	
合 計			124		

【注1】 教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】 専門教育科目の専門科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、専門科目群の中から取得すること。

【注3】 「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ①工学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」(ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。)
- ②工学部規程別表Ⅲの2に定める「資格関連科目群」全て

3. 1年間に履修登録できる単位数の上限

工学部では、1年間に履修科目として登録できる単位の上限を、**原則48単位**と定めています。
ただし、編入学生及び転学部の学生は、1年間に60単位を上限として対象授業科目を履修することができます。なお、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。

(1) 上限の対象となる授業科目

卒業要件単位として履修する授業科目です。卒業要件単位とは、卒業に必要な124単位に含めることができるものです。以下の科目が卒業要件単位として履修する授業科目にあたります。

- ① 教養教育科目（基礎科目群・教養科目群）
- ② 専門教育科目（他学部専門教育科目を含む）
- ③ キャリア教育科目の一部（「現代社会と職業」）
- ④ 他大学（放送大学を含む）との単位互換により履修する科目
ただし「放送大学教育協力型単位互換科目」の授業科目は上限の対象外

(2) 上限の対象とならない授業科目

- ① キャリア教育科目（「現代社会と職業」を除く）
- ② 卒業要件単位となる授業科目であっても、下記のは**上限の対象外となります。**
・「放送大学教育協力型単位互換科目」の授業科目

(3) 履修登録後、授業内容が期待する学習内容と相違する場合や、受講上必要な知識の不足等から履修の継続が難しいと判断する場合には、履修登録修正期間内に限りWEB上にて、履修登録を取り消すことができます。登録取消を行った科目の単位数は、履修登録上限単位数から除かれます。

4. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の履修登録単位数の上限緩和

*この項目は、編入学及び転学部した学生には適用されません。

以下の条件をすべて満たす学生は、次年度に履修登録の上限が緩和されることがあります。

- ① 1年間に取得した卒業要件となる授業科目の単位数が40単位以上。
- ② A評価以上の科目が取得した卒業要件となる授業科目の85%以上。
- ③ 取得した卒業要件となる授業科目のうち、評点が100点満点法による授業科目の平均点が85点以上。

該当する学生は、学務課工学部係を通じて令和7年4月7日（月）までに工学部長に申請する必要があります。申請が認められた学生は、1年間に履修科目として登録できる単位数の上限（48単位）が緩和され、56単位まで登録することが可能です。

5. 3年以上4年未満での早期卒業

*この項目は、編入学及び転学部した学生には適用されません。

工学部に3年6月以上在学し、卒業の要件として工学部が定める単位を優秀な成績で修得したものと認められた学生は、在学期間4年未満での卒業（早期卒業）が認められます。早期卒業の時期は9月又は3月です。早期卒業を希望する学生は、学務課工学部係を通じて2年次終了時に工学部長に申請してください。申請後の流れ及び成績優秀の基準は次のとおりです。

- ① 2年次終了時までの卒業要件科目の単位取得状況及び成績等に基づき、早期卒業対象学生としての適格性の審査を行います。
- ② ①の審査で早期卒業対象学生として認定を受けた学生に、卒業を希望する学期末に卒業の判定を行います。

卒業するためには、工学部が定める卒業要件の単位を取得し、かつ成績優秀でなければなりません。

- ③ 成績優秀であるかの認定は、卒業判定を行う期の前年度後期までの成績により行います。成績優秀の基準は、以下の全ての条件を満たす必要があります。
 - ・各年度において、卒業要件となる授業科目の単位数を1年間に40単位以上取得していること。
 - ・A評価以上の科目が取得した卒業要件となる授業科目の85%以上であること。
 - ・取得した卒業要件となる授業科目のうち、評点が100点満点法による授業科目の平均点が85点以上であること。

6. 学期末試験と成績

- (1) 学期末試験は、原則として各学期末、補講期間を含む授業期間中に行います。ただし、試験の実施時期や成績評価の方法は科目ごとに異なりますので、各科目のWEBシラバスをよく読み、授業中の指示および掲示に注意してください。
- (2) 病気や事故など、やむを得ない事情によって試験を受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。工学部教授会において、やむを得ない事情であり、なおかつ将来の学修計画にはなほだしく支障をきたすと認められた場合は、特別の方法により成績評価が行われます。該当者は、速やかに学務課工学部係に連絡してください。
- (3) 学期ごとの成績は、指定された期間に各自で確認してください。

7. 学外での学修に係る単位の認定

次の場合、学外で履修した単位が一定の範囲で本学での履修単位として認定されることがあります。いずれの場合も学務課工学部係で事前に相談してください。

- ① 本学入学前に他の大学（短期大学を含む）に在籍していた場合

教授会で有益と認められた場合、既修得単位が本学における単位として認定されることがあります。入学後速やかに（令和7年4月8日（火）までに）申請しなければなりません。

② 本学と交流協定を締結している外国の大学に、協定に則って留学した場合

教授会で有益と認められた場合、先方の大学で履修した単位について、本学における選択科目の単位として認定されることがあります。帰国後速やかに申請しなければなりません。

③ TOEIC、TOEFL、他各種外国語検定で一定の基準を満たした場合

審査の上、各外国語の単位として認定されることがあります。詳細は『全学教育ガイド』『Ⅲ教養教育科目の仕組み・履修案内』の「外国語科目における単位認定制度」を参照してください。手続は学期始めに行われるので、掲示を見て、提出書類と期限に注意してください。

8. 専門教育科目履修モデル等の案内

全体的な注意：

『CAMPUS LIFE』の「工学部規程」や本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスを熟読し、ガイダンス時に別に配布する時間割モデルを参考にして履修してください。

学部の科目履修上の注意：

1～2年次のうちに、出来るだけ教養教育科目や基幹必修科目を履修するようにしてください。3年次後期に研究室配属があり、卒業研究がスタートします。

専門科目の一部は、集中講義で行われますので、開講時期など学務課の掲示板に掲示される情報に注意してください。関連する科目は多岐にわたるので、各人の関心や必要に応じて学部の科目も履修するようにしてください。

選択必修科目については、「コンセプチュアルデザイン演習（PBL）」、「ユーザー指向開発演習（PBL）」、「社会改善起業演習（PBL）」の3科目から2科目4単位以上の履修が必要です。

工学部履修モデル（人間情報分野）

	基幹科目群		専門科目群	
	★基幹必修科目 29単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目 38単位以上	専門応用科目
1年次前期	(前半) △微分積分 △化学基礎 △創造とデザインの理論	(後半)・統計 △生体基礎 △物理基礎		
1年次後期	プログラミング基礎 電子工学 △自己プロデュースI 批判的思考I △□エンジニアリング演習 (PBL) △価値創造体験演習 (PBL)	(前半) △線形代数 △計測工学概論 △先端設計生産工学概論	(後半) △機械工学概論 △エンジニアリングビジネス概論	
2年次前期	造形基礎演習I	(前半) △アナログ回路 応用線形代数 離散数学 電磁気学 材料力学 熱力学	(後半) △デジタル回路	医工学概論 ☆コンセンチュアルデザイン演習 (PBL)
2年次後期	技術者倫理	(前半) △多変量解析 基礎生理学 △批判的思考II	(後半) △感性工学	最適化 センサ工学 生体計測基礎実習
3年次前期		人間工学		五感情報設計演習 □ヒューマンインターフェース演習 □ヘルスプロモーション ヒューマンキネティクス
3年次後期		□知能ロボット 機械力学		関係データベース分析 プロダクトデザイン演習 △コミュニケーション工学 ★卒業研究I
4年次前期				★卒業研究II
4年次後期				★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

工学部履修モデル（環境デザイン分野）

	基幹科目群		専門科目群	
	★基幹必修科目 29単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目 38単位以上	専門応用科目
1年次前期	(前半) △微分積分 △化学基礎 △創造とデザインの理論	(後半)・統計 △生体基礎 △物理基礎		
1年次後期	プログラミング基礎 造形基礎演習I △自己プロデュースI 批判的思考I △□エンジニアリング演習 (PBL) △価値創造体験演習 (PBL)	(前半) 物理化学実験		
2年次前期	電子工学	人間工学 材料力学 物理化学	(前半) △先端設計生 産工学実習I 環境・防災科学 応用物理化学実験	プロダクトデザイン演習
2年次後期	情報学概論	(前半) △□起業論 基礎生理学 有機化学 造形基礎演習II 技術と理念の日本美術史	物性工学 有機・無機化学実験 機器分析化学	
3年次前期		熱力学	建築環境工学 有機化学演習 高分子構造 ★プレゼミナール	有機工業化学 建築都市発展演習I 環境人間工学実習
3年次後期			☆□ユーザー指向開発演習 (PBL) △□信頼性工学 生体計測基礎実習 ☆社会改善起業演習 (PBL)	(前半) 先端設計生産工 学実習II 高分子材料学 建築都市発展演習II ★卒業研究I
4年次前期				★卒業研究II
4年次後期			プロジェクト・マネジメント	★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

9. 編入学生のために

(1) 令和7年度に第3年次に編入学した学生には、原則として令和5年度入学生と同じ学則及び工学部規程が卒業時まで適用されます。令和5年度の『CAMPUS LIFE』をよく読み、履修科目の構成や単位修得の条件など、注意して履修してください。

なお、科目の見直し等で『CAMPUS LIFE』に記載されている科目名称と開講科目が異なることがあります。不明な点は必ず教務担当の教員または学務課工学部係に確認してください。

(2) 「3. 1年間に履修登録できる単位数の上限」に記載しているとおり、編入学生は、1年間に60単位を上限として対象授業科目を履修することができます。なお、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。

(3) 編入学生は、入学時の単位認定が履修計画にも影響することとなりますので、教務担当の教員に相談して履修指導を受け、卒業までの履修計画を立ててください。

10. 工学部で取れる資格

工学部では、指定科目を履修して二級建築士、木造建築士の受験資格を得ることができます。詳しくは担当教員（藤田・長田）に確認してください。

その他の取得可能な資格に関して、全学教育ガイドの資格に関する項目に掲載しています。

工学部専門教育科目一覧

は、本年度開講せず。

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位			開講期	対象学年	備考
				必修	選択必修	選択			
基幹科目群									
基幹必修科目									
821000A1	微分積分	川口	2	1			前期	1 回生以上	
8210005A1	線形代数	川口	2	1			後期	1 回生以上	
8210010A1	確率・統計	川口	2	1			前期	1 回生以上	
8210015A1	情報学概論	〈伊藤〉	2	2			後期	1 回生以上	
8210020D1	プログラミング基礎	安在	4	2			前期	1 回生以上	
8210025D1	プログラミング実践	安在	4	2			後期	1 回生以上	
8210030A1	電子工学	佐藤	2	2			前期	1 回生以上	
8210035A1	計測工学概論	佐藤	2	1			後期	1 回生以上	
8210040A1	機械工学概論	〈平〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210045A1	先端設計生産工学概論	〈入野〉・〈小林〉・〈廣野〉・〈萩原〉・〈山田〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210050A1	生体基礎	芝崎	2	1			前期	1 回生以上	
8210055A1	物理基礎	〈上村〉	2	1			前期	1 回生以上	
8210060A1	化学基礎	三方	2	1			前期	1 回生以上	
8210065A1	創造とデザインの理論	藤田	2	1			前期	1 回生以上	
8210070B1	造形基礎演習 I	長谷・藤田・長田・〈倉〉・〈坂下〉	2	2			前期	1 回生以上	
8210075E1	自己プロデュース I	〈竹本〉	2	1			前期	1 回生以上	
8210080E1	自己プロデュース II	〈竹本〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210085B1	批判的思考 I	藤田・田中・天ヶ瀬・水垣・〈山岸〉・〈橋本〉・〈北條〉・〈梶尾〉	2	2			前期	1 回生以上	不定期。一部集中。
8210090A1	技術者倫理	〈鈴木〉	2	2			後期	1 回生以上	
8210095A1	エンジニアリングビジネス概論	〈駒谷〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210100B1	エンジニアリング演習 (PBL)	才脇・佐藤	(15)	1			前期集中	1 回生以上	
8210105B1	価値創造体験演習 (PBL)	長谷・長田・〈坂下〉	2	1			前期	1 回生以上	
基幹発展科目									
8210250A1	応用線形代数	吉田	2			2	前期	1 回生以上	
8210255A1	多変量解析	吉田	2			1	後期	1 回生以上	
8210260A1	離散数学	〈古田〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210265A1	アナログ回路	才脇	2			1	前期	1 回生以上	
8210270A1	デジタル回路	才脇	2			1	前期	1 回生以上	

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位			開講期	対象学年	備考
				必修	選択必修	選択			
8210275A1	知能ロボット	〈石黒〉・〈宮下〉・〈塩見〉・〈石井〉	(30)			2	後期集中	1 回生以上	
8210280A1	技術史	才脇・〈国本〉・〈坂巻〉	(15)			1	後期集中	1 回生以上	
8210285A1	人間工学	佐々	2			2	前期	1 回生以上	
8210290A1	機械力学	〈小柴〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210295A1	熱力学	〈福岡〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210300A1	電磁気学	〈藤田〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210305A1	流体力学	〈坂本〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210310A1	材料力学	〈藤本〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210315A1	基礎生理学	芝崎	2			2	後期	1 回生以上	
8210320A1	物理化学	山本	2			2	前期	1 回生以上	
8210325A1	有機化学	三方	2			2	後期	1 回生以上	
8210330C1	物理化学実験	山本	4			1	後期	1 回生以上	1・2 回生推奨
8210335B1	造形基礎演習Ⅱ	長谷・長田・〈倉〉・〈坂下〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210340B1	批判的思考Ⅱ	藤田・田中・天ヶ瀬・〈山岸〉・〈橋本〉・〈北條〉・〈梶尾〉	2			1	後期	1 回生以上	不定期。一部集中。
8210345A1	歴史文化工学	〈前川〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210350A1	技術と理念の日本美術史	〈山岸〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210355A1	植物生産学	〈箕作〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210360B1	イノベーション演習	〈竹本〉	(15)			1	後期集中	1 回生以上	
8210365A1	情報ビジネス	〈駒谷〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210370A1	起業論	〈秋山〉	2			1	後期集中	1 回生以上	
専門科目群									
専門基礎科目									
8210500A1	最適化	〈古田〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210505A1	パターン認識	吉田	2			2	前期	1 回生以上	
8210510A1	センサ工学	才脇・佐藤	2			2	後期	1 回生以上	
8210515B1	メディア工学演習	才脇	(30)			2	後期集中	1 回生以上	
8210520A1	生活支援と福祉工学	安在	4			2	後期	1 回生以上	
8210525A1	信頼性工学	才脇・吉田	(15)			1	後期集中	1 回生以上	
8210530D1	先端設計生産工学実習Ⅰ	〈入野〉・〈小林〉・〈廣野〉・〈萩原〉・〈山田〉	4			1	前期	1 回生以上	
8210535A1	医工学概論	芝崎・中田	2			2	前期	1 回生以上	
8210540A1	生体力学	大高	2			2	後期	1 回生以上	

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位			開講期	対象学年	備考
				必修	選択必修	選択			
8210545A1	認知神経科学	中田	2			2	後期	1 回生以上	
8210550D1	生体計測基礎実習	久保・芝崎・中田・佐々・大高	4			2	後期	1 回生以上	
8210555A1	感性工学	久保	2			1	後期	1 回生以上	
8210560A1	物性工学	〈常田〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210565A1	高分子構造	黒子	2			2	前期	1 回生以上	
8210570A1	無機化学	山本	2			2	後期	1 回生以上	
8210575A1	機器分析化学	大背戸	2			2	後期	1 回生以上	
8210577B1	有機化学演習	庄司	2			2	前期	1 回生以上	
8210580C1	応用物理化学実験	大背戸	4			2	前期	1 回生以上	
8210585C1	有機・無機化学実験	三方・庄司	5			2	後期	1 回生以上	
8210590A1	建築環境工学	久保	2			2	前期	1 回生以上	
8210595A1	都市・建築デザイン学	長田	2			2	後期	1 回生以上	
8210596A1	建築一般構造学	〈松浦〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210597B2	建築施工学	〈笠松〉	(30)			2	後期集中	1 回生以上	
8210600A1	環境・防災科学	〈藤井〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210605A1	プロジェクト・マネジメント	〈駒谷〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210610B1	エンジニアリングビジネス演習	〈駒谷〉	2			1	後期	1 回生以上	
8210615E1	プレゼミナール	久保・黒子・才脇・佐々・芝崎・中田・長田・藤田・吉田・三方・大背戸・佐藤・山本・安在・大高・庄司	2	2			前期	1 回生以上	
8210620B1	コンセプトアルデザイン演習 (PBL)	長谷・長田・〈豊永〉	2			2	前期	1 回生以上	3 科目から、2 科目 4 単位以上選択必修
8210625B1	ユーザー指向開発演習 (PBL)	久保・佐々	(30)			2	前期集中	1 回生以上	
8210630B1	社会改善起業演習 (PBL)	長田・藤田・〈田村〉・〈箕作〉	4			2	後期	1 回生以上	
専門応用科目									
8210750A1	関係データ分析	吉田	2			2	後期	1 回生以上	
8210755B1	五感情報設計演習	佐藤	2			2	前期	1 回生以上	
8210760B1	ヒューマンインターフェース演習	才脇・〈石黒〉・吉田・〈宮下〉・〈塩見〉・〈石井〉	(30)			2	前期集中	1 回生以上	
8210765D1	先端設計生産工学実習Ⅱ	〈入野〉・〈小林〉・〈廣野〉・〈萩原〉・〈山田〉	4			2	後期	1 回生以上	
8210770A1	ヘルスプロモーション	中田	(30)			2	前期集中	1 回生以上	
8210775E1	ヒューマンキネティクス	大高	2			2	前期	1 回生以上	
8210780A1	生体機能学	芝崎	(30)			2	前期集中	1 回生以上	

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週 時 数	単 位			開 講 期	対象学年	備考
				必修	選択 必修	選択			
8210785B1	生体医工学演習	芝崎・中田・ 大高	(30)			2	前期 集中	1 回生以上	
8210790A1	有機工業化学	三方	2			2	前期	1 回生以上	
8210795A1	高分子材料学	黒子	2			2	後期	1 回生以上	
8210800A1	機能性高分子化学	〈網代〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210805A1	機能性有機材料化学	〈山田〉	(15)			1	後期 集中	1 回生以上	
8210810A1	電気化学	山本	2			2	前期	1 回生以上	
8210815D1	環境人間工学実習	久保・佐々	4			2	前期	1 回生以上	
8210820B1	プロダクトデザイン演習	長谷・〈寶角〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210825B1	建築都市発展演習 I	藤田・長田	2			3	前期	1 回生以上	
8210830B1	建築都市発展演習 II	藤田・長田	2			3	後期	1 回生以上	
8210831A1	建築構造力学		4			3		1 回生以上	本年度開講 せず。
8210832A1	建築生産学	〈西岡〉	2			1	前期	1 回生以上	
8210834A1	建築法規	〈野口〉	2			1	前期	1 回生以上	
8210835B1	芸術文化発展演習	長谷・藤田	2			2	後期	1 回生以上	
8210840A1	河川・海岸工学	〈藤井〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210845B1	プロジェクト・デザイン演習	〈駒谷〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210850A1	コミュニケーション工学	〈荒牧〉・〈西山〉・ 〈若宮〉	2			1	後期	1 回生以上	
8210855F3	卒業研究 I	久保・黒子・才脇・ 佐々・芝崎・中田・ 長田・藤田・吉田・ 三方・大背戸・ 佐藤・山本・安在・ 大高・庄司		3			後期	3 回生以上	
8210860F4	卒業研究 II	久保・黒子・才脇・ 佐々・芝崎・中田・ 長田・藤田・吉田・ 三方・大背戸・ 佐藤・山本・安在・ 大高・庄司		3			前期	4 回生	
8210865F4	卒業研究 III	久保・黒子・才脇・ 佐々・芝崎・中田・ 長田・藤田・吉田・ 三方・大背戸・ 佐藤・山本・安在・ 大高・庄司		3			後期	4 回生	

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

工学部専門教育科目 時間割表

【前期】

曜日	時限	基幹必修科目		基幹発展科目	
		授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目	担当教員
月	1・2	化学基礎 (前半)	三方		
		生体基礎 (後半)	芝崎		
	3・4	電子工学	佐藤		
	5・6			人間工学	佐々
	7・8			物理化学	山本
9・10			電磁気学	〈藤田〉	
火	1・2				
	3・4				
	5・6	プログラミング基礎 (5~8時限)	安在		
	7・8				
	9・10	微分積分 (前半)	川口		
	確率・統計 (後半)	川口			
水	1・2			熱力学	〈福岡〉
	3・4				
	5・6			材料力学	〈藤本〉
	7・8			流体力学	〈坂本〉
	9・10			情報ビジネス	〈駒谷〉
木	1・2	創造とデザインの理論 (前半)	藤田	離散数学	〈古田〉
		物理基礎 (後半)	〈上村〉		
	3・4	自己プロデュースI	〈竹本〉	アナログ回路 (前半)	才脇
				デジタル回路 (後半)	才脇
				植物生産学	〈箕作〉
5・6					
7・8			応用線形代数	吉田	
9・10					
金	1・2				
	3・4				
	5・6	造形基礎演習 I	長谷 藤田 長田 〈倉〉 〈坂下〉		
	7・8	価値創造体験演習 (PBL)	長谷 長田 〈坂下〉		
	9・10				
その他	前期集中	批判的思考I	藤田〈山岸〉		
		エンジニアリング演習 (PBL)	才脇 佐藤		
前期	批判的思考I	田中 天ヶ瀬 水垣 〈橋本〉 〈北條〉 〈梶尾〉			

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	専門基礎科目		専門応用科目	
		授業科目	担当教員	授業科目	担当教員
月	1・2				
	3・4	医工学概論	芝崎 中田		
		有機化学演習	庄司		
	5・6			有機工業化学	三方
	7・8	環境・防災科学	〈藤井〉		
9・10					
火	1・2				
	3・4	プレゼминаール A	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司		
		5・6	先端設計生産工学実習 I (前半) (5~8時限)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉	
	7・8	電気化学		山本	
	9・10				
水	1・2			五感情報設計演習	佐藤
	3・4	プロジェクト・マネジメント	〈駒谷〉		
	5・6				
	7・8				
	9・10	建築一般構造学			
木	1・2			ヒューマンキネティクス	大高
	3・4	高分子構造	黒子		
		建築環境工学	久保		
	5・6	パターン認識	吉田		
	7・8				
9・10			建築法規 (前半) 建築生産学 (後半)	〈野口〉 〈西岡〉	
金	1・2	コンセプチュアルデザイン演習 (PBL)	長谷 長田 〈豊永〉		
	3・4	プレゼминаール B	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司		
		5・6	応用物理化学実験 (5~8時限)	大背戸	環境人間工学実習 (5~8時限)
	7・8	建築都市発展演習 I			藤田 長田
	9・10				
その他	前期 集中	ユーザー指向開発演習 (PBL)	久保 佐々	ヒューマンインターフェース演習	才脇〈石黒〉 吉田〈宮下〉 〈塩見〉〈石井〉
				生体医学演習 (前半)	芝崎 中田 大高
				ヘルスプロモーション	中田
前期				生体機能学 (後半)	芝崎
	前期			卒業研究 II	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

【後期】

曜日	時限	基幹必修科目		基幹発展科目		
		授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目	担当教員	
月	1・2					
	3・4	情報学概論	〈伊藤〉			
	5・6			技術と理念の日本美術史	〈山岸〉	
	7・8					
	9・10			機械力学	〈小柴〉	
火	1・2			歴史文化工学	〈前川〉	
	3・4					
	5・6					
	7・8			物理化学実験(前半)(5～8時限)	山本	
	9・10	線形代数(前半)	川口			
水	1・2	先端設計生産工学概論(前半)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉			
		----- エンジニアリングビジネス概論(後半)	〈駒谷〉			
	3・4	技術者倫理	〈鈴木〉	有機化学	三方	
	5・6					
	7・8					
	9・10					
木	1・2					
	3・4	自己プロデュースⅡ	〈竹本〉	基礎生理学	芝崎	
	5・6					
	7・8			多変量解析(前半)	吉田	
	9・10					
金	1・2			造形基礎演習Ⅱ	長谷 長田 〈倉〉 〈坂下〉	
	3・4					
	5・6	プログラミング実践 (5～8時限)	安在			
	7・8					
	9・10	計測工学概論(前半) ----- 機械工学概論(後半)	佐藤 〈平〉			
後期	後期集中			知能ロボット	〈石黒〉 〈宮下〉 〈塩見〉 〈石井〉	
				-----	-----	
				技術史	才脇 〈国本〉 〈坂巻〉	
				批判的思考Ⅱ	〈北條〉	
				-----	-----	
	後期				イノベーション演習	〈竹本〉
					-----	-----
					起業論	〈秋山〉
					-----	-----
					批判的思考Ⅱ	藤田 田中 天ヶ瀬 〈山岸〉 〈橋本〉 〈梶尾〉

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	専門基礎科目		専門応用科目		
		授業科目	担当教員	授業科目	担当教員	
月	1・2					
	3・4	機器分析化学	大背戸	河川・海岸工学	〈藤井〉	
	5・6	無機化学	山本			
		生体計測基礎実習 (5～8時限)	久保 佐々 芝崎 中田 大高	芸術文化発展演習	長谷 藤田	
	7・8	物性工学	〈常田〉			
9・10						
火	1・2					
	3・4					
	5・6	生活支援と福祉工学(後半) (5～8時限)	安在	先端設計生産工学実習Ⅱ(前半) (5～8時限)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉	
	7・8					
9・10	センサ工学	才脇 佐藤				
水	1・2	最適化 ----- 認知神経科学	〈古田〉 中田			
	3・4	エンジニアリングビジネス演習(前半)	〈駒谷〉			
	5・6	社会改善起業演習(PBL) (5～8時限)	長田 藤田 〈田村〉 〈箕作〉			
	7・8					
	9・10			プロジェクト・デザイン演習	〈駒谷〉	
木	1・2	生体力学	大高			
	3・4			高分子材料学	黒子	
	5・6			関係データ分析 ----- 機能性高分子化学	吉田 〈網代〉	
	7・8	感性工学(後半)	久保	プロダクトデザイン演習	長谷 〈寶角〉	
	9・10			コミュニケーション工学(前半)	〈荒牧〉 〈西山〉 〈若宮〉	
金	1・2					
	3・4	都市・建築デザイン学	長田			
	5・6					
	7・8	有機・無機化学実験(5～9時限)	三方 庄司			
	9・10			建築都市発展演習Ⅱ	藤田 長田	
その他	後期 集中	メディア工学演習 ----- 信頼性工学 ----- 建築施工学	才脇 才脇 吉田 〈笠松〉	機能性有機材料化学	〈山田〉	
		後期			卒業研究Ⅰ	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司
					卒業研究Ⅲ	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司

〈 〉の担当教員は非常勤講師

工学部専門教育科目 積極開放科目

ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位	開講期	備考
8210065A1	創造とデザインの理論	藤田	2	1	前期	
8210095A1	エンジニアリングビジネス概論	〈駒谷〉	2	1	後期	
8210280A1	技術史	才脇・〈国本〉・〈坂巻〉	(15)	1	後期 集中	
8210535A1	医工学概論	芝崎・中田	2	2	前期	